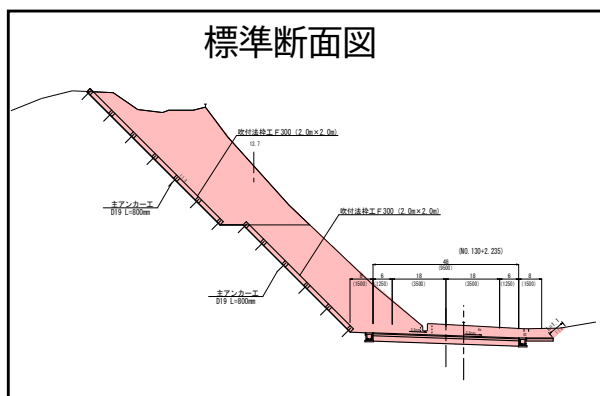
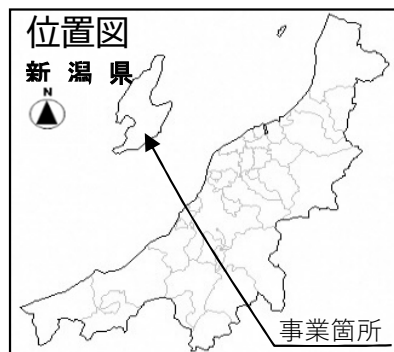


52 道路の法面・盛土の土砂災害防止対策

緊急輸送道路における土砂災害防止対策の事例 (佐渡市 主要地方道両津真野赤泊線)



対策内容

- 幅員狭小区間の解消
- 防災点検箇所の土砂災害防止対策
- 第二次緊急輸送道路としての安全性の確保

○対策の効果

■ 主要地方道両津真野赤泊線は、両津港と赤泊港を結び、国仲地区の医療・文化施設のアクセスや地域住民の生活基盤を支える重要な路線です。しかし、当該区間は幅員が狭く、路線バスや一般車両のすれ違いに支障を来す状況となっていました。

また、防災点検箇所を含む区間であることから、豪雨時の土砂災害発生等が懸念されていました。

■ 本事業では、山側法面の切土により道路幅員を拡幅し、幅員狭小箇所の解消が図られました。

また、法面对策を実施することで、防災点検箇所における土砂災害発生リスクが軽減され、緊急輸送道路としての安全性が確保されました。